

(様式2)

## パブリックコメント実施結果報告書

令和5年12月18日

担当課	高等学校課
担当者	福本、津村
連絡先	0857-26-7517

パブリックコメントのテーマ：令和新時代の県立高等学校教育のあり方に関する基本方針  
(令和8年度～令和17年度)案(概要)

1 手段別意見応募件数(意見件数を記入し、応募者数は( )書きをしてください。)

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
72 (41)	35 (25)	113 (21)	29 (19)	39 (18)	13 (6)	( )	301 (130)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	1	・多様性、協働性、寛容性を身につけ、異なる考えや価値観を「尊重し」共有できる生徒(基本方針案(概要)方針1めざす生徒像の記載)
既に盛り込み済み	29	・地域に出て、体験を通じた理解を深めてほしい。 ・鳥取の良さを語る人の育成が大事。必ずしも鳥取の地にいなくても、県外、海外から鳥取を支援するつながりを持つことが重要。 ・普通科における農業、商業などの専門科目が履修できるカリキュラム編成について、ぜひ実現してほしい。 ・県外生徒を受け入れる工夫をすることが学校存続につながる。県外生徒との学校生活の中で多様な価値観に触れさせることは重要。そのためには住環境整備が必要。 ・コーディネーターを配置し、地域と連携した教育活動を推進したり、県外へのPRを強化したりすることは重要だ。教職員だけでこの役割を担うことは困難だ。 ・地元社会を維持していくためにどのような人材を育成することが必要なのかの観点で、普通科、専門学科のバランスを検討する必要がある。 ・中学校と違う高校の良さは、大人数の生徒の中での経験だと思う。小規模になると、教職員が確保できず、教科や部活が開設できないなど、生徒の選択肢が狭まる。すべての学校が小規模化することは、子どもたちの選択肢を奪うことにつながる。

今後の検討課題	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や学科数がさらに減少すれば、多様な学習ニーズに応えることが困難になる。高校生活の中で進路意識が芽生え、目的意識をもって大学等進学や社会に出ていく生徒の学習の機会を制限することは耐えられない。</li> <li>・専門高校はくくり募集とすべき。中学生のうちに自分の興味のある学科を選択することは困難。</li> <li>・県立中高一貫校を設置してほしい。</li> <li>・校舎の新築、改築、エアコンや洋式トイレの整備、バリアフリー化の視点について全く触れられていないのが気がかり。教室の広さが現在のアクティブラーニングに適しているのかなど、抜本的な検討が必要</li> <li>・小規模になると、教職員が確保できず、教科や部活が開設できないなど、生徒の選択肢が狭まる。すべての学校が小規模化することは、子どもたちの選択肢を奪うことにつながる。</li> <li>・学校数を維持すべきだ。</li> <li>・少人数学級できめ細かい教育ができるにこしたことはないが、費用対効果を考えるべきだ。それにより、どれだけの費用が必要となってくるのか。他に優先すべきことがないのか。</li> </ul>
対応できない	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代ごとに変わる県民や産業界のニーズに応える方策は必要ない。</li> <li>・「めざす生徒像」は定型化された生徒像が示されており、自分らしい生き方実現とは逆行し、公教育の観点とかけ離れている。</li> <li>・ふるさとキャリア教育にかかる文言は、生徒の内心の自由の保障にかかるとであり、これを前面に出すことはナンセンスであり、むしろ逆効果をもたらす懸念がある。</li> <li>・特色化路線に走ることは教職員への負担増となり、県外生徒募集は、県内だけでなく県外他校にまで範囲を広げての競争に駆り立てられている。また、寮運営については、教職員に丸投げすることが想定され、これも教職員の負担増につながる。</li> <li>・学区制を復活させるべき。</li> <li>・現基本方針の撤回を求める。</li> </ul>
その他上記に分類できないもの (参考とさせていただきます意見)	173	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を取り巻く環境は、今までに経験したことのない方向に進みつつある。社会環境の変化にあった学校づくりが重要だ。(少子化、ヤングケアラー、貧困、世界全体から見た日本の所得水準の低下、世界水準から見た学力の低下)</li> <li>・「育成したい生徒像」と「中学生本人や保護者の希望」が合致すれば、県立高校の志願者も増えると思う。より魅力ある県立高校となることを期待している。</li> <li>・子供の人数が減少すると同時に普通科志向が高くなっている状況だが、これからの鳥取県の産業界を担っていく人材確保が急務である。各産業界では人手不足そして将来を担う人材が不足している。</li> </ul>
計	301	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットで の公表(担当 課による)	報道機関への提 供	県議会への報告	広報紙等への掲 載	関係団体等への 報告	その他
○		○		○	○ (定例教育委員会での報告)